

令和5年度第一回当別町新庁舎建設検討委員会報告書

- 1 日 時 令和5年7月6日(木) 10:00~10:45
- 2 場 所 役場第二庁舎
- 3 出席者
(出席委員) 高橋委員長、和田副委員長、下段委員、松岡委員、袴田委員、小貫委員、今堀委員
(町及び事務局)
【事務局】 乗木企画部参与、高田事業推進課長
事業推進課 米内主幹、中鉢主任、有澤主事
- 4 傍聴者 4名
- 5 会議概要
開会后、次第により、次のとおり委員会を取り進めた。
 - ・委員長挨拶
 - ・議 事
事務局より「①令和5年度の検討内容について②令和5年度の検討スケジュールについて」を資料に基づき説明した。
 - ・質 疑
委 員：今年度は既存施設の机上調査、現地調査を行うとある。検討スケジュールを見ると第二回検討委員会の議題になっているが、第二回委員会で調査結果を報告するのか。
事 務 局：スケジュールについては、今年度一回目の委員会なのでまずは昨年度の振り返りと今年度の検討していく内容の確認をさせていただいた。本格的な議論は次回以降で、調査した結果を随時お示しして議論したいと考えています。
委 員：農協と白樺公園は基本構想で候補地としていたが、既存施設を活用した場合、候補地ではなくなるのか。そこを含めた既存施設の活用という位置づけになるのか。
事 務 局：候補地としては残っています。今回の検討では、昨年事業費を少しでも縮減できないかといった議論の中の一つとして、NTTビルに機能を一部移転する分散配置の考えが出てきて、候補地は残しつつ、今ある公共施設を活用できないかという話になり、NTTビルは昨年議論しましたが、他に活用できる施設は無いかという議論もしましたので、まずはそこを調査してみようということで、今年度調査を進めていこうということです。
委 員：去年も同じ話をしたが、結局いつまで検討していくのか。スケジュールをみても既存施設をこれくらい活用できるというところで終わっていて、1年後に、

まだその段階を検討しているのかと思われてしまう。出来るだけ早くとのことだったが、改めて全体的なスケジュール感を教えて欲しい。

事務局：スケジュールについては、できるだけ早くと言っている中で、他の委員さんもいつまで検討するのかと思っていると考えています。昨年度の時点で、規模、機能についてはある程度の議論ができたため、今年度は残る建設場所と事業手法について進めていきたいと思っています。ただ、建設場所の議論をする前に、分散配置といった既存施設の活用をどれくらいできるのかという議論をしたいと思っています。そこが整理できれば、建設場所、事業規模、事業手法と見えてくると考えています。

委員：例えば3ページにある今年度の検討についての④比較・評価は、最後のページでいう三回目の委員会のところまでになり、四回目以降の候補地、事業手法の検討に関しては、3ページの④以降の話になるのか。

事務局：利活用の可能性調査は三回目までに調査した内容をお示し、それを受けて四回目以降の議論にすすみたいと考えています。

委員：役場庁舎はどんなコンセプトで何のために建てるか、何かしらの共通認識の中で検討していくのがいいと思う。商業系ベースにして賑わいをつくるだとか、建設時に断熱性を高めて省エネするだとか、町長の掲げるデジタル田園都市のデジタルの力で課題を解決していくだとか。どんなコンセプトで建設するかという判断軸があれば、議論がしやすいしその後の納得感も得やすいので、お示しただければと思う。

事務局：基本構想の中では駅前の賑わいづくりということで、駅周辺に建設候補地を絞ってというところからスタートし、その後複合化はしないというような議論で進んでいます。また、コンセプトの話がありましたが、市街地になると街作りのゾーン分けのような整理が必要だと考えていますので、そういった整理を合わせてしながら、皆さんにご意見をいただいきたいと考えています。

委員：既存施設を活用した分散配置で議論は進んでいるが、実際に庁舎に来庁する人たちはどの程度いるのかこの機会に確認することも必要。マイナンバーカードの活用などにより、住民サービスは将来的に自宅で手続きできるようになると思う。そうした場合、先ほどの事業規模と既存施設の活用というところから見ると、福祉や介護関係が入っているゆとりの活用状況も今回確認してはどうか。窓口を利用される方が少なくなれば、おそらく職員の配置も縮小され、仮にゆとりなり既存のほかの施設に、福祉や住民サービスが移ることができれば、新庁舎は例えば議会や行政機関部門だけにして、もっと縮小できるのでは。

事務局：ゆとりについては、現在も社会福祉協議会が入居したりして余裕はない状況で、新たに人員スペースを作るのは難しいと考えていました。ただ、ゆとりの利用状況は、我々も抑えておきたいと思えます。

委員長：ほかに何かございますか。せつかくの機会ですので、今年度1回目ということで、皆さんの意見を一通りお聞きしたいと思います。

委員：今までの議論と重なるが、町の業務内容を十分把握していないので、新しく建てるとしたときに、どうしても庁舎内に置かなくてはならないものや分散配置可能なもの、かつ、庁舎から距離が遠くでもいいもの、近いほうがいいものなど、そういったものの大まかなリストがあれば私たちも整理しやすいので、リストを作成していただければと思う。ただ、分散化によって、機能やサービスが今よりも下がってしまうようなことがあってはいけなし、DXの活用を取り入れた検討をしていきたいと思う。

事務局：基本的にはリモート窓口など、どこにいても場所に関係なくサービスが受けられるように変わっていくと思っています。分散配置によって今より不便になっては意味がないので、より利便性が高まるという考え方になると思います。設備等については、昨年度に防災施設を建物の外に出せるという説明も少しさせてもらいましたが、あらためて整理させていただきたいと思います。

委員：分散化はすごくいいと思うが、分散化した建物は15年か20年先に更新しなければならぬ時期が必ず来ると思います。分散化しても結局また20年後にお金がかかるなら、今たくさんかけてもいいのではないかと思う。ただし、役場を利用する人がどれくらいいるのかの確認と、デジタル化によって買い物や役場に行かなくても生活できるような時代が10年後には来ると思うので、そのようなことも想定していかないといけないと思う。

事務局：更新については考え方だと思います。昨年度までの委員会の議論の中で、20年、30年先の将来の見通しは立たないため、まずは既存の施設を活用しつつ、20年、30年後に改めて考えるという考え方もありますし、今思い切ってお金をかけて建てるという考え方もあると思っています。役場の利用者やデジタル化については、分散化のイメージの部分だと思いますので、これについては整理していきたいと思います。

委員：いつまでにこの検討をしなければならないという期限は無いのかなと思う。今回の資料では、今年度も建設地を決めるところまではいかないように見える。議会だよりも、令和4年度に建設場所が決まるのではなかったかという質問に対して、検討委員会で検討はしているが検討事項は多く、建設場所を決めるところまでできていないということが書かれていたが、私としては、もっとスピード感が必要であれば委員会の回数を多くしてもいいし、検討に何年もかけていいものなのか不思議に思う。

事務局：ただいまの意見は委員さん皆さんが思われていることだと思っています。我々も早くと言いつつ、いつまでとれない状況です。ただ、今年度の利活用可能施設の検討を進めることで建設場所の議論ができて、それによってある程

度の先も見えてくると考えていますので、まずは検討を進めながら、時期的な部分も整理できるようにしていきたいと考えているところです。

委員：一回目の会議のときに、どういう庁舎を建てたいかイメージを持ってきてくださいって言われ、すごくワクワクして、自分なりに調べたりしたが、実際は簡単なものでないし、こんなにお金がないのだなと思った。ただ、当別町はふるさと納税の寄附金がたくさんあって、お金がないというのであれば、そういうのは使えないのかなと思いました。

委員：検討は確かにネガティブな話で進めていて、ワクワクではないがそういう要素も少し必要だなと思う。町民がとうべつ学園を新しい学校ができたと自慢していたり、ワクワクしていたりするのを耳にしたことがあるので、庁舎も同じように建てられたらいいなと思うし、この検討委員会の中でもワクワクするような形で意見を出せればいいなと思う。当別町は2030年までの再エネの交付金の交付決定を受けたと思いますが、例えば新庁舎を建てる時に、屋上にソーラーパネルをつけて、近隣住民は太陽光パネルの電気を使えますようにして、電気代は高騰しても役場と契約した安定した価格で買えますとか、そんな先駆けみたいな案をいろいろと出せば自分たちも面白いし、町民も自慢できる庁舎になったりするのかなと思いました。

委員長：ありがとうございました。

本日は、今年度検討委員会の検討内容について審議いただきました。令和4年度に、基本構想の素案をもとに庁舎機能や規模の適正化を検討しておりますが、今年度は、事務局より説明があったとおり既存施設の活用可能性について、今日出た意見含め、次回以降に検討していくこととなりますので、引き続き、委員皆様のご協力をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

・その他

事務局より、次回の今年度二回目の委員会は8月から9月の間に開催する旨、連絡した。

以上